

平成 30 年 9 月
第 386 号



大湫町夏祭り 8/11



お

お

く

て



木工教室 8/5 (日)

『みんなで作ろう遊園地』

おもな内容

- ・大湫財産区議員決定 … P2
- ・木工教室 … P3
- ・旧大湫小学校 … P4
- ・大湫町夏祭り … P5
- ・寺子屋 … P6

大湫財産区議員決定（H30. 7. 30～H34. 7. 29）

旧財産区議長：三浦順三氏

退任にあたって

平成 30 年 7 月 29 日をもって財産区議員の任期が満了し退任しました。思えば 3 期 12 年間長いようであつという間だった気がします。特に 3 期目の 4 年間財産区議長という大役をおおせつかり合わせてコミュニティ推進協議会の副会長も与えられ大変でしたが廻りの人達に助けられてやってこれたことに心より感謝しております。新しく議員になられた方々は色々大変だと思いますが、町のために頑張ってください。最後にこれからも健康に注意し微力ながら地域の発展の為に協力していきたいと思ひます。ありがとうございました。



長い間お疲れ様でした。でも、これからもよろしくお願ひしますね！

新財産区議長：三戸憲和氏

大湫財産区議長就任の挨拶

この度、前三浦順三議長の後任として、大湫財産区議会議長に就任することとなりました。

これまでの歴代議長様のような裁量も能力もない私ですが、皆様のご協力の基努めて参りたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年は予測をはるかに超えた集中豪雨による大きな災害が、全国各地で発生し、その災害の中でも、森林の崩壊による土石流や流木による家屋や橋などの被害が新聞、テレビ等で大きく報道されています。

この様な中で、大湫町内には山林、原野、その他合わせて、227 ヘクタールの財産区有地があります。収益性の高い優良木の生産も大切なことではありますが、こうした災害に対して安全・安心な森づくりを始めとした財産区有地の管理をこの度就任いたしました 5 名の議員と共に、取り組んで行きたいと思ひますので、皆様のご理解ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

新財産区議員

議長：三戸憲和 副議長：林 幸弘

議員：小栗和明、加藤晴夫、西尾達也、渡邊貴憲

よろしく
お願ひします



木工教室 8/5(日)

猛暑の中、恒例となった『木工教室』がふれあいセンターで開催されました。

今年のテーマは「みんなでつくろう遊園地」。最初に講師の橋本先生から、基本となる歯車のしくみを説明してもらい、お父さん・お母さんそしておじいさんにおばあさんも手伝って歯車が回るように汗だくになりながらも、和気あいあいと作業が進みます。



目の輝きが違っわー!



親子で参加



おじいちゃん
と一緒に参加



色ぬり、
上手でしょ



集まろう会のファミリー菜園で収穫したスイカとトウモロコシやミニトマトを食べて、水分補給したよ。

今年が最後となってしまった講師の橋本先生、長い間ありがとうございました。また、食べ物を提供してくれた集まろう会のみなさん、そして参加されたみなさん・スタッフのみなさん、お疲れ様でした。

旧大湫小学校

小学校の思い出

安藤 雅人

大湫小学校を卒業し24年余りが経ちましたが、歩けばギシギシと軋む教室や長い廊下、グラウンド、サツマイモや自然薯を育てた畑、本陣山などの自然、そして地域の方々と大湫町全体が大切な学びの場でした。

当時を振り返ればたくさんの楽しい思い出が浮かんできます。運動会の地区対抗リレーは、子供から大人までがバトンを繋いでいく毎年大盛り上がるの競技でした。大人には小さなトラックのため、派手に転ぶ姿が名物でもあり、応援しつつも笑ってしまう楽しい思い出の一つです。また、登下校のときに、「おはよう。今日も頑張ってるね。」「おかえり。楽しかった?」と近所の方に声をかけてもらえる日常もまた、懐かしい思い出です。そんな大湫小学校で6年間を過ごすことができ、本当によかったと思います。

今では、大湫のシンボルでもあった思い出の学び舎はなくなってしまいましたが、当時の風景や記憶はいつまでも大切にしたいと思います。



自然薯もサツマイモも立派だね



公民館運営委員会 8/21(火)

「公民館及び丸森」の第1回運営委員会が開催されました。

それぞれの中間報告と後半の事業計画(案)を報告。他に、実施事業の問題点・課題などについて話し合いました。

公民館ロビーを飾って下さる作品を募集しています。TEL63-2360

皆さんの作品をお待ちしています

リ・アップ“ひよも”だより

9月のお茶のみ会のおさそい

日時：9月5日(水曜日)

9:30~11:00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費：50円

—— お待ちしています ——

みんなでワイワイ、ガヤガヤ楽しもまあ

大湫町夏祭り 8/11(土)

暑かった日差しも夕方には、
星空へと変わり、最高の夏祭り
になりました。青少年ボランテ
ィアの活躍もあり、スムーズに
準備ができ本番を迎える事ができ
ました。



小・中・高校生の青少年ボランテァが活躍！



それぞれのゲーム
を楽しみました

鮎もねぎま・フランクフルトもおいし
かったよ



盆踊りもバサラも
最高でした



餅投げは、子ども
部・大人の部と分け
て行いました



フィナーレは、「釜戸中学
校閉校記念花火大会」

小さな町で大きなイベントを開催するの
は大変な事。でも、大湫町の絆で今年も大
成功の内に幕を閉めることができました。

スタッフのみなさん、協力下さいました
方々本当にお疲れ様、そしてありがとう。



おおくて寺子屋 7/24~8/9 (6回)

楽しい夏休みを過ごすためには、やっぱり早めに宿題を済ませる事!

今年も、「おおくて寺子屋」では暑い夏を吹っ飛ばそうとみんなが頑張りました。“寺子屋で”「宿題ほとんど終わった…」という人もいたっけ。



今年は、先生が2人も…!
ご協力ありがとうございました

夏にピッタリ。スイカの差し入れが、おいしかったあ…!!



最後は、「行燈」を作りました
って、夏祭りで披露しました



釜戸小学校長も数回足を運んで、生徒の頑張る姿を見ていただきました。小学校のホームページにも“寺子屋”のこと掲載されましたよ。

今年は釜戸から参加してくれた子ども達もいました。これが、来年につながって行くといいですね。



丸森だより

8月の丸森から

訪れた方 (8/26まで)

町外から		町内		合計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
280	29	63	28	400	5
				昨年8月453人	

H30,4月～	4,152人
オープンから	15,365人

(団体)

*教育委員会主催の教員研修(10人)

(最近の様子)

- *夏祭りの時に1時間延長し VTR と星座教室 (11人)
- *夏休みを利用してのスタンプラリーの親子が多数
- *中山道を調べる小中学生も
- *後半(20日から26日)になって歩き旅の人や9月以降の下見の人が増えてきた。

9月の丸森事業 から、

① 観光案内

瑞浪市五平マップが出ました。
(大湫のお休み処も掲載)

中山道ぎふ17宿踏破ウォーキングが
スタート(大湫宿関係も)



第4回 大井宿にて「みのりの祭り」開催

9/23 (日) 大湫宿～大井宿 ウォーク

受付番号 104 目安/13.7km・3時間30分

参加費 2,500円 定員 100名
 スタート受付/9:00～10:00 大湫コミュニティセンター(JR中央本線瑞浪駅より無料バス2便あり)8:50発/9:30発 ※定員上1便に間に合うようお越しください。2便に乗り遅れた場合がござります

ゴール受付/12:30～14:00 料理旅館いも川 大湫宿

申込締切 2018年9月19日(水)

参加特典
 ・スタートにて 五平餅とお茶
 ・料理旅館いも川にて しぶろく御膳
 みのりの祭り「特別版」

御嵩のグループの方から自転車スタンドをいただきました。(お休み処の前に)



- 9/14・・・ボランティアガイド研修パート③
大井宿内を歩く
- 9/23・・・大杉注連縄作りの紹介
- 9/28・・・ボランティアガイド案内
可児市からの団体
- 9/30・・・権現山一里塚へのウォーキング
釜戸公民館主催

② 館内展示

秋を先取り・・・トンボ飾り
十五夜・虫の音楽会・・・影絵

大湫中学備忘録 (3)

6. 県下初の女性校長

大湫中学初代校長、森川清爾は戦後の新しい時代、教育がいかに大切かを村民に語ります。彼の熱意が村民と共に、大湫村に新制中学設立を実現させました。設立にあたり、父、森川義男名義の土地を運動場用地に提供。

森川清爾は、大湫小・中学校の兼任校長として、戦後の新しい教育をリードしていきます。昭和23年の二期後半、労苦が蓄積し、清爾は結核休職を余儀なくさせられてしまいます。奥村重らは校務上の重要な役割を果たさざるをえませんでした。清爾に翌年四月から妻木小学校長へ転出する話しがきていました。この転任が内示されると、大湫国民学校時代、そして新制大湫中学の開校に向け、共に関わっ

てきた奥村重を清爾が呼びます。「貴方には、いずれこの中学の校長をやってもらおうと思っっているのだが…」と切り出します。奥村重は大湫の出身。大正12年に大湫尋常小学校を卒業し、清爾の三年後輩に当たります。

森川清爾が転任すると、土岐郡泉中学から肥田正雄校長が大湫小との兼任で着任しました。

それから二年後、一九五一(昭和26)年四月、森川清爾と同じ大湫育ちで、村の文化や伝統を熟知した奥村重は、村の子どもたちを思い、校長に就任。二年前の森川清爾の言葉を思い出していました。岐阜県下、初の女性校長の誕生です。40歳、奇しくも森川が大湫中学の校長に就任した年齢と同じでした。

「私が中学三年になった春、岐阜県下で初の女性校長が大湫中学校に誕

生しました。しかも大湫の出身者」(『記念誌』昭和26年度卒 桐井 義弘)。生徒たちは、誇りを感じます。生徒たちの間で奥村重校長の登用が大きな話題となったことがうかがえます。

戦後、教育の民主化が憲法と教育基本法に基づき進められ、教育界における女性の地位も変わり始めます。学校の教育方針決定に係わる女性校長が各県で誕生⁽¹⁾しました。戦後劇的に変化した教育の世界に於いても指導的地位に就く女性教員は希ですから、生徒たちも驚きとともに、事態の変化が進行していることを感じたのです。

(1) 女性校長を登用した県は、1940年代(昭和22~24年) 11県。1950年代(昭和25~34年) 5県(『植草学園大学研究紀要第6巻』高野良子 2014)。平成22年の学校基本調査による中学校の女性校長の割合は、

7. 大湫、養護教諭第一号

戦後の日本教育の大きな変化は、女性校長の登用のような目に見えるものばかりではありません。教育の中味も大きく変わっていきます。その一つに、児童・生徒は学校から地域に出て、いろいろな経験的学習をすることが奨励されました。大湫中学でも付属の「農場を学習の素材」とし、一九四九（昭和24）年度は「地域社会に立脚」する時間割の編成をおこなっています。そこには「自主的学習態度」や「発表能力」を育てようとする意図がありました。

また、中学校の「体育」が「保健体育」となり、学校の保健計画が行事計画に組み込まれます。

一九四九年の四月、肥田正雄校長⁽²⁾

が大湫中学に赴任。その翌年三月末、一人の養護教諭が肥田校長と連れだつて大湫に向かいました。「肥田校長先生について釜戸坂を登つて来ました」⁽³⁾。途中、21歳のこの教諭は、肥田校長に尋ねます。「先生、大湫中学はもうすぐですか」。校長は笑いながら、「まだまだ、だよ。半分も来てないな」。教諭は「大変なところに来ることになった、と思った」といいます。その彼女が、天野（旧姓高綱）辰代教諭。大湫小・中学校に兼務で赴任した養護教諭でした。

大湫村は、「無医村」。養護教諭に村民も期待しました。天野辰代は学校保健計画を立案します。小・中学校には、寄生虫（回虫、ギョウ虫）保持者や眼病を患う児童・生徒も多く、不快害虫のノミ・シラミの保持も例外ではありませんでした。当時、DDT⁽⁴⁾が殺

虫剤として広く利用されており、「頭や下着へ『DDT』を散布」したので、おおくの学校でみられた光景でもありました。

天野辰代も顕微鏡で寄生虫卵⁽⁵⁾の有無を調べます。「保健室はありませんから廊下の隅でマッチ箱の便をとり」⁽³⁾調べました。カイニンソウ⁽⁶⁾を煮詰めて回虫駆除剤を作ることでも養護教諭の仕事です。

学校保健に力を注ぐことは、

「GHQから米
国教育視察団報告書が発表され」たことにより、

これにより大きく学校の保健教育が進みました。それだけに養護教諭には、驚くほどの仕事待ち受け、20代の若い教諭には大変な重荷でもありま



大湫中学の校章（帽章）

安藤則通氏提供

した。

肥田校長の理解と援助そして教職員の協力により、天野辰代は重責を乗り越えていきます。「教員は何時でも、そして何事も勉強だからね」という肥田校長の言葉を反芻しながら…。

(2) 1948 (昭和24)年四月に大湫小中が校長に着任。前任校は土岐郡泉中学。1950年四月、土岐郡肥田中学校長に転任。

(3) 『大湫小 百三十年の歩み 閉校記念誌』平成十七年三月、大湫小学校編集・発行

(4) 有機塩素系の殺虫剤。現在、使用が禁止されている。

(5) 腸内寄生虫保持者の割合は、昭和24年の小学校 63.9%、中学校 58.5%をピークに急激に減少。『学制百年史 戦後の学校保健』文科省

(6) 駆虫成分を含む海藻で、煎じて服用する。

八月の句

黒猫のまなこなつきか亜麻色夏なつきか旺ん

山口雪子

鬼灯ほおずきや城下の町に朝の市



天野辰代

曲り多き木陰づか徑出て大西日
盛り塩を大摺づかみして土俵入り



ようこそ大湫へ

そして、お帰りなさい

この度、8月11日に神田区に越してまいりました「S・K」と申します。妻(Y)・長男(S)・長女(I)・次女(I)の5人家族です。

自分の幼少期に大湫の大自然の中で育った良い思い出を、子ども達にも同じように感じてもらいたいという思いから、今回長男の小学校入学に向けてこちらへ越してまいりました。

まだ、幼児ですので少々騒がしいところがあるかと存じます。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、何か気になることがございましたら、遠慮なく教えて頂けると有り難いです。

これからお世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

みんなで考えよう『大変』な事

狭い国土に、一億二千七百万人が住んでいる。これだけの人が、安心して食べられるだけの食料はない。百五十年前の明治維新までは、米を主食にして味噌汁と漬物の貧しい生活だった。

鎖国政策から外国と貿易を始めるようになり、日本から輸出する物と言えば、農産物か雑貨類ぐらいだった。海外には生活用品や、喉から手が出る様な機械器具が一杯あった。

器用な日本人は、それらを真似てそれ以上の物を作って逆輸出して儲けるようになった。資源のない日本、あるものは勤勉な労働力だけだった。今でも日本人は、「よく働く国民」だと言われている。

追いつけ、追い越せと、百年足らず

で急成長を遂げた。その間、朝鮮を併合し、台湾を領有し、軍事力の強化に努め、七十七年前、アメリカと無謀な戦争を始め、四年間の死闘の末、三百万の人命と「国破れて山河あり」、主要都市の殆どが焼け野原となって、戦争は終結した。

総てを失った廃墟の中から立ち上がった日本国民を蟻に例える。蟻塚を壊されても一夜で修復する勤勉力を日本人に重ね合わせる。過去の関東大震災、復興に汗を流している東北の被災者達、そうして毎年、何処かで発生している天災の復旧に取り組んでいる人達の蟻にも負けない根性に敬服すると共に、これからも発生すると思われる天災・人災に立ち向かわなくてはならない。

戦後七十三年、平和に明け暮れているが、世界でも一・二と言われる長寿

国になり、医療費の増加が苦慮されている。医学の進歩により「癌」の撲滅も近いと言われているが、次に心配されているのは「認知症」の増加である。少子化も深刻であるが、大企業は人手不足を見越して、AI（人間の知能を持ったロボット）の開発に力を入れている。

今に人間の仕事を奪ってしまうと言われているが、電気仕掛けの機械ばかりで、温かい血の通った人間が居なくなってしまうと思うと背筋が寒くなる。一足先にインターネットの時代を迎え、日常会話はスマホで事足りている。人間らしい感情を取り戻さなければ、地球は近い将来、砂漠化してしまうだろう。

(次号は農業について)

(文責) 天野長三郎



おっ H30
せらし
9月の集まろう会

大湫町民ニ
テ推進協議
会集まろう会

9月の太鼓は.....

★ 9月1日(土)、15日(土)太鼓練習をします。

午前9時30分より。その後、火田の手入れをしたり、
簡単な物づくりをします。(ラベンダーの香り袋等)
そして、遊びましょう。

★ 太鼓「大杉」に、挑戦したいという希望者が集まって、
夜、練習をしています。もう少し、待って下さい。みなさん
と、一緒に出来るようになります。

● 木工教室.....大勢の家族の人達で賑わいました。

集まろう会で収穫したスイカや、とうもろこし、ファミリー菜園で
のミニトマト等、野菜も、いっぱい、いただきました。お世話し
て下さった方々、ありがとうございました。



8月4日瑞浪七夕
まつりで太鼓出
演しました。
美濃源氏太
鼓の方には、大
変お世話になり
ました。子ども達に
とっては、とても良い
思い出になりました。

「ほっかの店」は、9月15日(土)に開きます。和代宅です。

西森川邸清掃（民間ワイワイプロジェクト西森川チーム）

次回の活動のお知らせ

空き家になっている西森川邸の利活用に向け、今年も有志のメンバーを募り清掃活動を行ないます！活動はどなたでもご参加いただけます。お気軽にお問い合わせください。

【今後のスケジュール】

9月2日（日）13時～16時 清掃活動（雨天中止）

【持ち物】

軍手・タオル・マスク・飲み物・スリッパ・懐中電灯

※9月上旬ですが、暑さは続きます。熱中症対策、十分な水分をお持ちください。

※女性は草刈り道具、男性は家具の金具取り作業がありますので金槌や工具をお持ちください。

【補修・清掃箇所】

①草刈り ②寺子屋の清掃 ③住居の清掃 ④家具の解体 等

【これまでの参加メンバー】

東濃信用金庫、安達学園、十六銀行、陶都信用農業協同組合、大湫町の方々、西森川邸のオーナー、はなす会、グリーンバード瑞浪

【今年も宜しくお願いします】

家具の解体による大きな音や古民家から出る粉塵など、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしております。活動にご理解いただきありがとうございます。昨年は、のべ200名の方にご参加いただき随分と古民家の中の整理ができてきました。今年も、みなさまのご意見をいただきながら進めたいと思います。

【お問い合わせ先】

NPO 法人グリーンバード瑞浪チーム 玉川幸枝 TEL:0572-56-1777

大湫町 棚橋和代 0572-63-2861

大湫公民館からのお知らせ

<p>オススメ！大湫分室の本</p> <p>『記録を記憶に残したい大正時代』 山口謠司：著</p> <p>大正時代は、15年間という短い時代でしたが、現代社会の礎となるものがたくさんあったそうです。懐かしいエピソードとともに、ロマンを味わいましょう。</p>	<p>特別優待券あります（1枚で5名様まで）</p> <p>○世界淡水魚水族館「アクア・トトぎふ」 期間：12月31日まで</p> <p>ご招待券あります（2名様分）</p> <p>○中山尚子原画展 「土神と狐」－宮沢賢治作品より－ 期間：10月21日まで 会場：市之瀬廣太記念美術館</p> <p>オープニングコンサート 「安らぎの調べ2重奏」9/22のみ 午後1時30分～</p> <p>○特別展観 「木曾海道六拾九次之内」 期間：9月30日まで 会場：中山道広重美術館</p> <p>*詳しくは大湫公民館まで TEL63-2360</p>				
<p>デマンド交通</p> <p>利用者(大湫～日吉東部) 7月：51便 延べ115名</p>					
<p>青色回転灯防犯パトロール 9月のパトロール予定者</p> <div data-bbox="204 1137 448 1368"></div> <table border="1" data-bbox="464 1066 778 1384"><tr><td>9/上旬</td><td>大竹市エ門 棚橋 雅美</td></tr><tr><td>9/下旬</td><td>加藤 博一 松浦 大哲</td></tr></table>	9/上旬	大竹市エ門 棚橋 雅美	9/下旬	加藤 博一 松浦 大哲	
9/上旬	大竹市エ門 棚橋 雅美				
9/下旬	加藤 博一 松浦 大哲				
<p>*大湫宿お休み処</p> <p>9月の営業は2日(日)・9日(日)・16日(日)・23日(祝/日) 24日(月)・30日(日)です。</p> <p>皆様のお越しをお待ちしております。</p> <p>☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL：0572-63-2455</p> <p>*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)</p> <p>9月営業日 第2・第4土曜日 営業時間 AM9：00～AM11：00 営業場所 ふれあいセンター</p> <div data-bbox="1070 1778 1267 2040"></div>					

区長日記

厳しい暑さが続く中、家族はもとより、地域の子供たちを温かく見守り育てて下さった先輩の方々が矢継ぎ早に去られ、寂しい限りです。

毎年8月15日の終戦記念日には、大湫の戦没者慰霊碑を市長をはじめとする関係役員でお参りしておりますが、戦争を体験した世代が減少する中で、世界の国家間の争いのタネが尽きることは無く、私たちの心の中に平和の砦を築く努力の必要性は、日増しに高まっているといっても過言ではないと思います。

身近な人に去られるたびに、ひとり一人の命の大切さを再確認させられますが、太平洋戦争では、世界で約八千万人、日本だけでも三百万人という未曾有の命を奪うことになったのですから。

市では稲津町に爆弾の投下があり、私も民家の柱に突き刺さった砲弾の痕を見せてもらったことがあります。大湫宿は戦火を免れ今日を迎えておりますが、母からは「名古屋空襲のときにやあ南の空が真っ赤に染まってよお、みんな

なで震えて見とつたんやにいく」と眉をひそめて聞かされたのを思い出します。

私たちに出来ることは限られておりますが、これからの時代を生き抜く子々孫々のためにも、いざとなったら平和のために立ち上がる覚悟を持って、限られた人生を生き抜こうではありませんか。

区長会長 足立

8月1日 盆踊り練習

3日 定例区長会・幹事会

4日 夏祭り準備・瑞浪七夕大湫太鼓出演

5日 木工教室

7日 「おもだか屋」屋根補修

8日 草刈ボランティア隊活動・盆踊り練習

11日 大湫町夏祭り

13日 第三回オオクテ・ツクルテ実行委員会

18日 神田・足又夏祭り

21日 公民館運営委員会

27日 景観林整備事業打合せ・釜中閉校実行委員会

28日 古民家再生プロポーザル審査委員会

平成三十年九月行事予定

日	曜	予	定
一	土	山びこどん(布ぞうり作り)	中仙道GCチャリテイー夏祭り
二	日	消防団市長特別点検	財産区全員会議
三	月	リ・アツプ「ひよも」	定例区長・幹事会
四	火	おしゃべりサロン	景観ワークショップ
五	水	公民館講座(ブローチ作り)	釜中体育大会(閉校記念イベント含む)
六	木	大湫町敬老会	
七	金	*敬老の日	オオクテ・ツクルテ実行委員会
八	土	おしゃべりサロン	釜小運動会
九	日	*秋分の日	大杉大しめ縄作り(雨天:二四日)
一〇	月	*振替休日	
一一	火	釜小社会見学(五・六年)	
一二	水	広報委員会/長寿会奉仕作業	

今月の資源ごみ:9/20(木)不燃ごみ:9/6(木)

編集後記

“熱い”“暑い”夏はいつ去っていくだろうか？

特に今年は台風も暑さも尋常ではない。この暑さで体力も消耗して一気に「夏バテ後遺症」や「秋バテ」が来そうだ。夏の終わりの気温の変化には皆さん要注意ですよ。

夏が終わり涼しくなってきたところに、暑さによる疲れが蓄積された体が、悲鳴をあげるかも！

すぐそこには、運動会や敬老会に秋祭りそして文化祭と多忙な日々が待っています。温かい食べ物でしっかり癒して、スポーツの秋・食欲の秋・芸術の秋に備えましょう。

『心地よい秋風の季節』はそこまで来てるでしょうか…y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 平成30年 9月1日 瑞浪市大湫町 422-1 Tel.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>